

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内

【臨時号 JPCSA 通信】

2020年8月27日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。
いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

今回は臨時号として、観光庁の魅力的な滞在コンテンツ造成における実施事業募集について、お知らせいたします。

2次募集で提案書の提出締め切りは10月5日です。事業実施期間は短いですが、予算規模が2000万円と大きく、地域資源の磨き上げには大変有効ではないかと思えます。

昨今注目のワーケーション実証事業などコンテンツ造成の方向性、提案書の書き方など、当会でもできる限りフォロー致しますので、本事業が気になる農泊協議会、農泊事業者、観光協会、DMO、自治体などの皆様におきまして、支援が必要でしたら一度お気軽にご相談ください。

お問い合わせ：03-3526-2493

info@jpcsa.org

◆「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」における実施事業の公募

観光庁では、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の観光客が安心して観光を楽しむことができるよう、地域が一体となって新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応した着地整備を行っていくことが重要であると、観光イベント・観光資源をより安全で、集客力の高いものへと磨き上げるために実施する実証事業を公募しています。

これらの実証事業の支援を行うことにより、誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた取り組みの方向性の調査・検証を行います。

農泊に取り組む皆様にとっても非常に有効な事業ですので、ぜひ観光庁ホームページにて詳細をご確認ください。(記事下部にURLを記載いたしております)

【事業内容】

- ①観光イベントの実施・観光資源の磨き上げ
- ②情報発信・プロモーション
- ③事業効果の検証
- ④調査事業者が派遣する外部有識者等との連携
- ⑤報告

【提案者・実施体制】

提案者：

地域において本事業の主体となる団体で、地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）、観光協会、民間企業、その他観光振興に取り組む団体・協議会等

実施体制：

地方公共団体との連携が必須条件。

加えて、観光地域づくり法人（DMO）、観光協会、民間企業（宿泊施設・旅行会社・交通事業者・大手メーカー等）等、広く地域内の関係者と連携すること。

【支援対象経費の規模】

支援対象経費の上限は、1件あたり2,000万円（税込）とし、選定件数や提案内容に応じて金額を決定する。

【募集期間】

令和2年8月21日（金）～令和2年10月5日（月）17:00 必着
事業の選定・通知は、11月中旬頃

【提出方法】

以下の提出先に、メールにて送付すること。
ただし、メールの件名の冒頭には「【誘客多角化】〇県〇市_提案団体名_提案事業名を入れること。

誘客多角化実証調査事務局（日本旅行グループ 株式会社 JATS）
E-mail : hgt_yukyaku2020@nta.co.jp

観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実施事業のページ：
https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000159.html

=====
発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2
（TEL：03-3526-2493 / FAX：03-3526-2494）
ホームページ URL はこちら：<https://jpcsa.org/>
問い合わせ先 E-mail：info@jpcsa.org
=====